DAVOXシリーズ

取扱説明書

M-MANU200069-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4)本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
5) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
6) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
7) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
8) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用又はこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
9) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
10) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
11) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
12) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

「Sound it!」に関するお問い合わせ

住所: 〒550-0014
大阪市西区北堀江2丁目2番25号 久我産業ビル 南館
株式会社インターネット　ユーザーサポート係

E-Mail：techsupport@ssw.co.jp
ホームページにある「お問い合わせシート」の形式にてお送りください。
※お問い合わせシート:http://www.ssw.co.jp/support/inquiry1.txt
（注）メールを送る際には、文字化けなどのトラブルを避けるため本文は、必ず「テキスト(半角カナは不可)」のみで送信してください。

電話番号: 東京 03-3226-0208
大阪 06-6539-0621

FAX番号: 東京 03-3226-0184
大阪 06-6539-0622

受付時間：月～金曜日　11:00～13:00、14:00～17:00
（土・日・祝祭日・インターネット社休業日を除く）

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating Systemおよび Microsoft® Windows®XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98の総称

もくじ

4 「Sound it!」を使ってみる

5 付録

安全にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

 例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

 例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

 例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

注意

注意

本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

●振動や衝撃の加わる場所

●直射日光のあたる場所

●湿気やホコリが多い場所

●温湿度差の激しい場所

●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）

●強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）

●水気の多い場所（台所、浴室など）

●傾いた場所

●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用（保管は通風孔をふさぐようにしてください。）

●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）

●静電気の影響の強い場所

●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所での使用（保管は構いません。）

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

●落としたり、衝撃を加えない

●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない

●重いものを上にのせない

●そばで飲食・喫煙などをしない

●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

本製品の特徴

本製品はパソコンのUSBインターフェイスに対応した、USBオーディオ入出力機器です。DVD、CD、MP3をはじめとするパソコンのあらゆる音声も本製品を用いれば、そのままUSBオーディオのクリアな音質で出力することができます。
また本製品は音声入力端子を持っており、音声の出力だけでなく外部オーディオ機器から音声をパソコンへデータとして取り込むことができます。

◆パソコンでオーディオ編集・加工

本製品は、パソコンにあらゆる音声を簡単に取り込むことができます。取り込んだオーディオデータの編集／加工は添付の多機能オーディオ編集ソフト「Sound it!」で行えます。「Sound it!」の多彩なエフェクト処理を使った「オリジナル音声作成」などが思いのままに行えます。

◆MP3オーディオの編集も楽々

添付の「Sound it!」を使えば、MP3ファイルの波形編集作業が行えます。
作成したMP3ファイルをMP3プレイヤーに転送して楽しむなど、使い方が広がります。
また、録音したデータからオーディオCDを作成する際にも大変便利です。

◆簡単USB接続

パソコンのふたを開けることなく、簡単に接続が可能。ドライバのインストールなどの作業も簡単な手順で行えます。

◆バスパワー電源方式を採用

ACアダプタ不要で設置も楽に行えます。

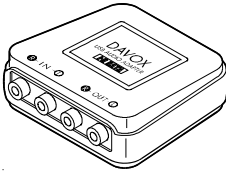
1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

箱を開けたら

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
☐にチェックをつけながら、ご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

☐ 本製品（1台）

☐ DAVOXシリーズサポートソフト
CD-ROM（1枚）
※以下のソフトウェアが入っています。
・Sound it! 3.0 LE for Windows
・Sound it! 3.0 for Macintosh

☑ 本書（1冊）

☐ USBケーブル（1本　1m）

☐ ハードウェア保証書（1枚）

☐ インターネット社
ソフトウェア使用許諾書（1枚）
※インストール時に必要なシリアルNO.が
記載されています。
紛失しないように大切に保管してください

☐ Sound it！ユーザー登録カード（1枚）

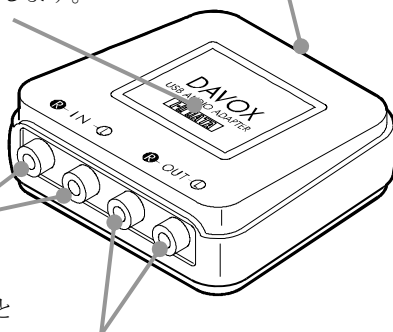
各部の名称

本製品の各部の名称は、以下のようになっています。

USB(USBコネクタ)
添付のUSBケーブルでパソコンのUSBポートと接続します。

動作ランプ
USBコネクタをパソコンに接続すると、赤色に点灯します。

LINE IN
(ラインインジャック:ライン入力端子)
オーディオ機器などのLINE OUTと接続します。

LINE OUT
(ラインアウトジャック:ライン出力端子)
オーディオ機器などのLINE INと接続します。

動作環境について

本製品は以下の環境で動作します。

■Windows■

対応機種	●USB ポートを標準搭載した※1 DOS/V マシン *※1 弊社製 USB インターフェイスボード搭載機種を含む* ・CPU※2：MMX Pentium 166MHz 以上／メモリ:64M バイト以上 （Windows XP/2000 の場合） ・CPU※2：MMX Pentium 166MHz 以上／メモリ:32M バイト以上 （Windows Me/98 SE の場合） *※2 Crusoe［クルーソー］ CPU には対応していません。*
対応 OS （日本語版）	Windows XP Windows 2000 Windows Me Windows 98 Second Edition
USB コネクタ	本製品接続時に1つ必要（タイプ A）
CD-ROM ドライブ	添付ソフトウェアのインストール時に必要

■Macintosh■

対応機種	PowerPC G3以上で、USBポートを標準搭載した Apple Macintosh, iBook, Power BookG3/G4, iMac, Power Macintoch G3, Power Mac G4/G4 CUBE/G5, eMac
対応 OS （日本語版）	Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2 Mac OS X 10.1.5/10.2～10.2.8/10.3～10.3.6
USB コネクタ	本製品接続時に1つ必要（タイプ A）
CD-ROM ドライブ	添付ソフトウェアのインストール時に必要

添付ソフトの動作環境

<Sound it! 3.0 LE for Windows>

対応機種	Intel Pentium 166MHz 以上(MMX Pentium 推奨)を搭載した機種
対応 OS (日本語版)	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、 Windows 98(Second Edition 含む)、Windows 95(OSR2 以降)※、 Windows NT 4.0(SP3 以降)※ *※WMA ファイルは、Windows 95/NT 4.0 では対応しておりません。*
メモリ	32M バイト以上　(64M バイト以上推奨)
ハードディスク	インストール時の空き容量：　最低 10M バイト以上
ディスプレイ	800×600 ドット以上の画面解像度　(推奨 1024×768 以上)
色数	16 ビット(High Color)
MIDI to Wave 機能	MIDI ソングをウェーブに変換するには、ご使用のパソコンに Roland VSC 3.2 がインストールされている必要があります。 *※DAVOX には Roland VSC 3.2 は添付しておりません。*

- 上記記載の動作環境は、「Sound it! 3.0 LE for Windows」単体での条件です。
- 「Sound it！」は上記記載の動作環境を満足するすべてのパソコン上での動作を保証するものではありません。
  ご使用のパソコン、周辺機器、インストール済みのソフトウェアの設定、またはそれらの固有の仕様などにより、必要な動作環境は変化する場合があります。

本製品に添付の「Sound it! 3.0 LE for Windows」では、製品版「Sound it! 3.0 for Windows」に搭載されている CD 作成/CD リッピング機能には対応しておりません。
製品版へのアップグレードその他に関しては、PDF ファイルを参照してください。

＜Sound it! 3.0 for Macintosh＞

対応 OS （日本語版）	Mac OS 8.6～9.x Mac OS Ⅹ（10.1 以降） *注）CD 作成（ライティング）は、Mac OS Ⅹ（10.2 以降）対応*
CPU	PowerPC G3 以上
メモリ	32M バイト以上 （64M バイト以上推奨）
ハードディスク	インストール時の空き容量： 最低 10M バイト以上
ディスプレイ	800×600 ドット以上の画面解像度 （推奨 1024×768 以上）
CD-R/RW ドライブ	CD リッピング（CD オーディオの読み込み）には、アップル純正内蔵ドライブ推奨。 CD ライティング（CD 作成）には、アップル純正 CD-R/RW ならびに各種 CD-R/RW が必要。 *※対応ドライブは、インターネット社ホームページでご確認ください。* *（[ヘルプ]メニューの[サポートドライブ一覧]から接続できます。）*
MIDI to Wave 変換機能（MIDI データの読み込み）	MIDI ソングをウェーブに変換するには、ご使用のパソコンに Roland VSC 3.0 がインストールされている必要があります。 *※DAVOX には Roland VSC 3.0 は添付しておりません。* *※Mac OS Ⅹではこの機能はご使用になれません。*

・上記記載の動作環境は、「Sound it! 3.0 for Macintosh」単体での条件です。
・「Sound it！」は上記記載の動作環境を満足するすべてのパソコン上での動作を保証するものではありません。
ご使用のパソコン、周辺機器、インストール済みのソフトウェアの設定、またはそれらの固有の仕様などにより、必要な動作環境は変化する場合があります。

注意していただきたいこと

●他のオーディオデバイス（サウンドカード等）との併用はできません。
すでにインストールされているサウンドカードや、マザーボード内蔵のオーディオ機能などは自動的に無効になります。既存のサウンドカードを取り外したり、ジャンパやBIOSによってハードウェア的に無効にする必要はありません。
ただし、使用するオーディオデバイスを選択できる機能を持ったアプリケーションでは、併用が可能な場合もあります。

●本製品を使用しているときは、パソコン内蔵のサウンドからは音声は出力されません。

●音楽CDの再生は、「デジタル音声抽出」に対応したドライブでのみ可能です。
お使いのCD-ROMドライブが「デジタル音声抽出」に対応しているかどうかは26ページ【CD-ROMドライブの確認】を参照して確認してください。

●本製品そのものからは音は出力されません。
音声は本製品に接続されたアンプ内蔵スピーカーなどのオーディオ機器を通じて出力されます。MDレコーダー等の録音機器と接続する場合には、録音状態または録音待機状態にしておく必要があります。AVアンプ等では入力端子に接続するだけで、音声の出力が可能です。

●セルフパワーUSBハブで使用できますが、バスパワーUSBハブでは使用できません。
ご使用の環境によっては、セルフパワーUSBハブでも正しく動作しない可能性があります。この場合にはパソコン本体のUSBポートに接続してご使用ください。

●Mac OSでの録音はサンプリングレート48kHzのみに対応しています。

●ご使用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド、休止状態、スリープなどのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本製品の使用時にはそれらのモードにしないでください。

●ラジオやテレビのそばに近接して使用しない。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しいお取り扱いをして下さい。

2 インストールする

この章では、インストールについて説明します。インストール作業はご使用のOSにより異なります。ご使用のOSのページを参照してインストールしてください。

Windows XPにインストール

Windows XPを起動します。

コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。

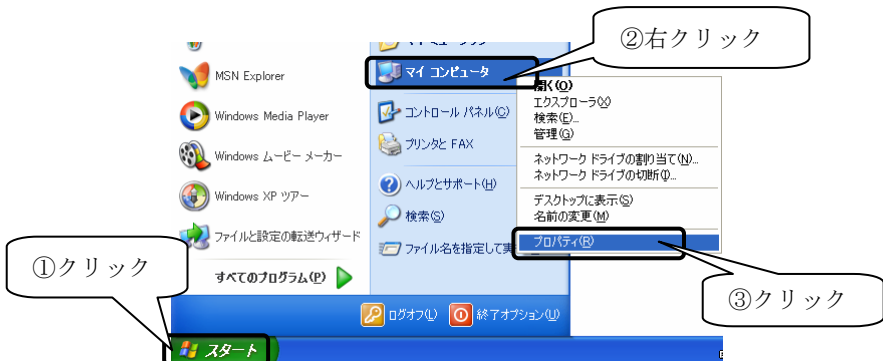
パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

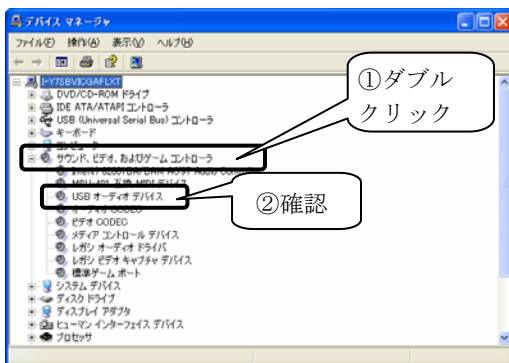
Windows XPが完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。

インストール終了後の確認

[スタート]→[マイコンピュータ](右クリック)→[プロパティ]をクリックします。

[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

正しく認識されていない場合には【困った時には(P55)】をご確認ください。

Windows 2000にインストール

Windows 2000を起動します。

Administorator権限でログオンしてください。

パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

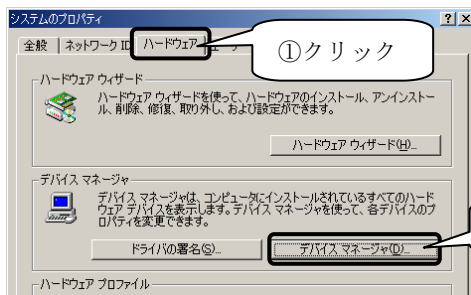
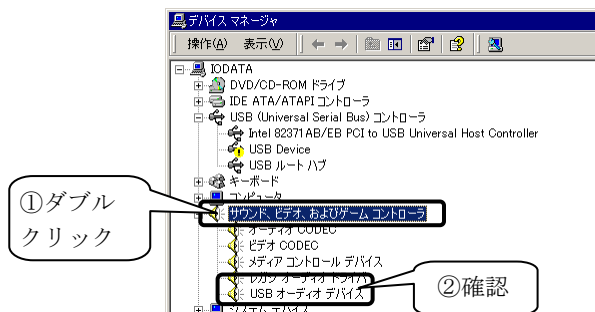
Windows 2000が完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。

インストール終了後の確認

[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

正しく認識されていない場合には【困った時には(P55)】をご確認ください。

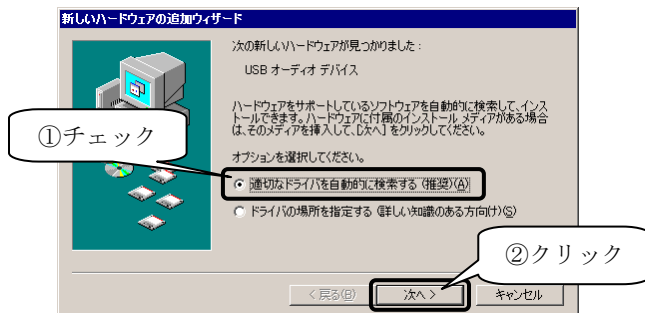
Windows Meにインストール

Windows Meを起動します。

パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Windows Meが完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

3 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[適切なドライバを自動的に・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

[完了]ボタンをクリックします。

これでインストールは終了です。

インストール終了後の確認

[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

正しく認識されていない場合には【困った時には(P55)】をご確認ください。

Windows 98にインストール

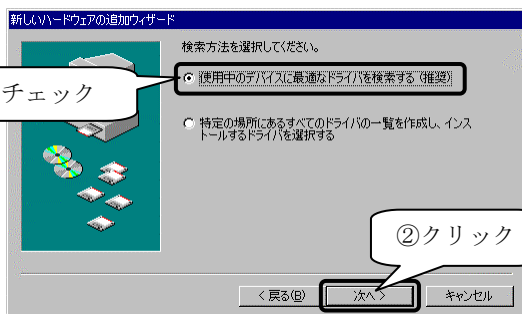
Windows 98を起動します。

パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

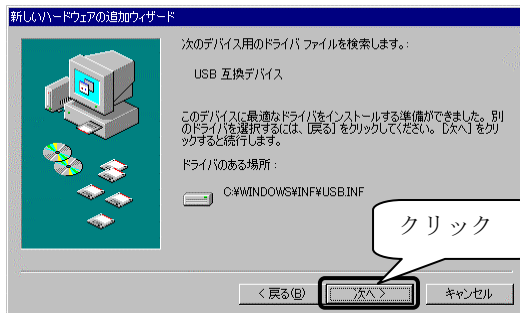
Windows 98が完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

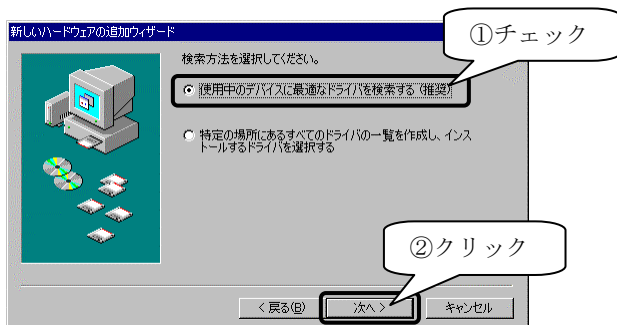
3 しばらくすると以下の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

4 [使用中のデバイスに最適な・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックします。

チェックがついていたらすべてはずします。
そのまま、[次へ]ボタンをクリックしてください。

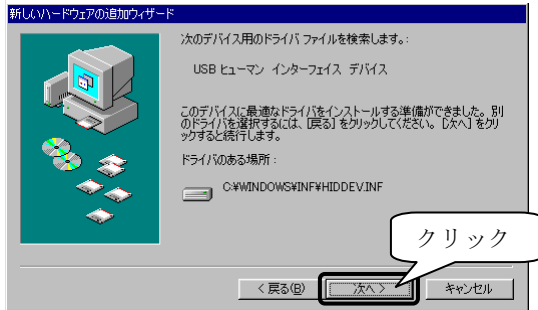
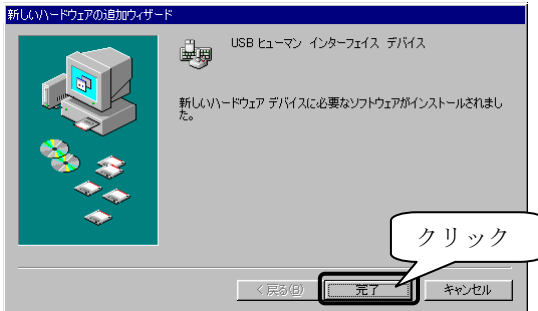
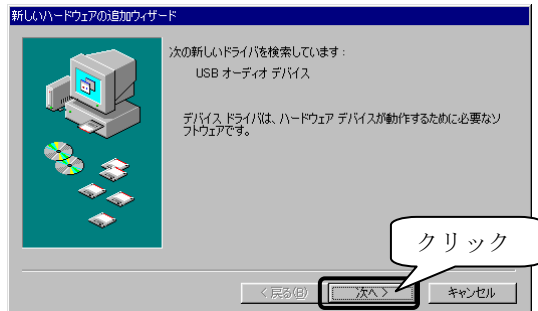
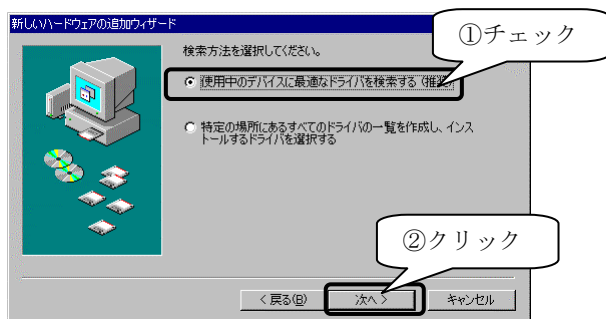
6 [次へ]ボタンをクリックします。

[完了]ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックします。

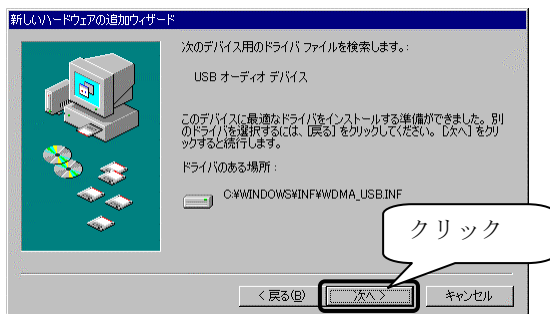
[使用中のデバイスに最適な・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

10

[次へ]ボタンをクリックします。

11 [次へ]ボタンをクリックします。

Windows 98 CD-ROMを要求してくる場合は、指示に従ってCD-ROMをセットし、CD-ROMドライブのWin98フォルダを指定してください。

12 [完了]ボタンをクリックします。

13 [次へ]ボタンをクリックします。

14 [使用中のデバイスに最適な･･･]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

15 [次へ]ボタンをクリックします。

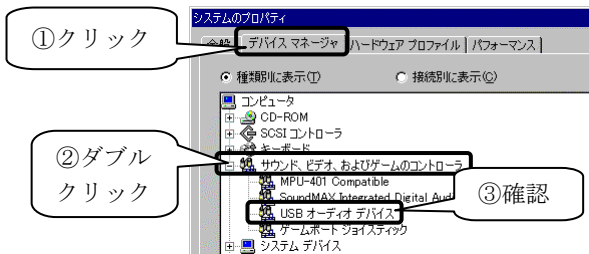
16 [次へ]ボタンをクリックします。

Windows 98 CD-ROMを要求してくる場合は、指示に従ってCD-ROMをセットし、CD-ROMドライブのWin98フォルダを指定してください。

17 [完了]ボタンをクリックします。

これでインストールは終了です。

インストール終了後の確認

[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

正しく認識されていない場合には【困った時には(P55)】をご確認ください。

Macintoshにインストール

Macintoshを起動します。

パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Macintoshが完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。
引き続き、本製品が正しくインストールされたかどうか確認します。

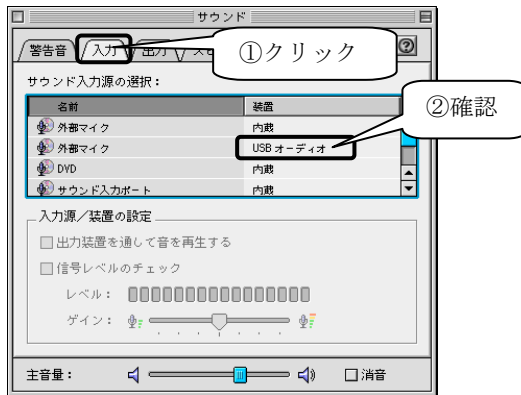
Macintosh で使用する場合、パソコンが起動した後に本製品を接続してください。

インストール終了後の確認

Mac OS X 10.1.5/10.2 以降をお使いの場合は次ページをご覧ください。

Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2 をお使いの場合

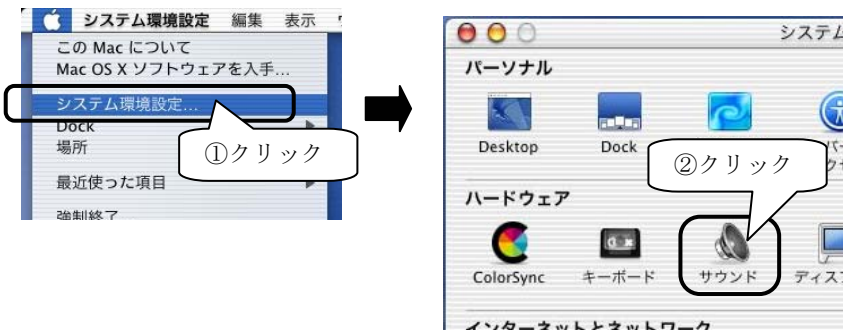
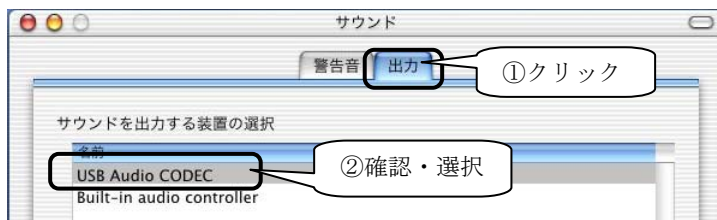
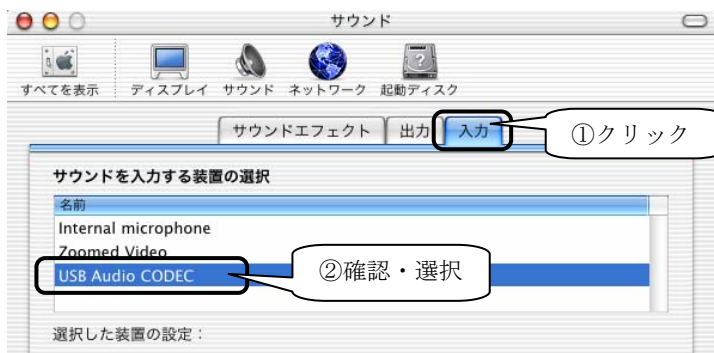
アップルメニューをクリックし、[コントロールパネル]→[サウンド]を順にクリックします。

[入力]タブをクリックし、[装置]欄で[外部マイク]に「USBオーディオ」が表示されていることを確認します。

正しく認識されていない場合には【困った時には(P55)】をご確認ください。

画面左上の をクリックして、画面を閉じます。

これで、本製品をお使いいただけます。

Mac OS X 10.1.5/10.2 以降をお使いの場合

アップルメニュー→[システム環境設定…]→[サウンド]をクリックします。

[出力]タブをクリック後、[サウンドを出力する装置の選択]に
[USB Audio CODEC]が表示されていることを確認します。
[USB Audio CODEC]が選択されていない場合は選択します。

Mac OS 10.2の場合のみ、[入力]タブをクリックし、[サウンドを入力する装置の選択]に[USB Audio CODEC]が表示されていることを確認します。
[USB Audio CODEC]が選択されていない場合は選択します。

正しく認識されていない場合には【困った時には(P55)】をご確認ください。

画面左上の ● をクリックして、画面を閉じます。

これで、本製品をお使いいただけます。

3 使い方いろいろ

本製品はアナログケーブルを接続できるオーディオ機器なら、何でも接続できます。ここでは、接続例のほんの一部を紹介します。

CD-ROMドライブの確認　26ページ

本製品をお使いになる前に、CD-ROMドライブが「デジタル音声抽出」に対応しているかどうか確認します。

外部機器へ出力する（アナログ出力）　27ページ

パソコンで再生した音声をオーディオ機器などに出力できます。

パソコンに録音する（アナログ録音）　29ページ

オーディオ機器などからの出力をパソコンに取り込むことができます。

添付ソフトウェアについて　30ページ

本製品に添付されているソフトウェアについて説明します。

スピーカーや MD レコーダー等、本製品への接続機器の取り扱い（本製品との接続個所など）については、接続機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

本製品は、パソコン起動中でも USB ポートからの抜き差しが可能です※。必要なときだけ接続し、それ以外は、別の USB 機器を使うといったこともできます。
※ 再生中および録音中は本製品の抜き差しは行わないでください。

CD-ROMドライブの確認

本製品で音楽CDの再生を行う場合、「デジタル音声抽出」に対応したCD-ROMドライブが必要です。以下の方法で対応しているかどうか確認してください。

※Macintoshでお使いの場合は、この確認は不要です。

●Windows XPの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]をクリック→[ハードウェア]タブをクリックし、お使いのCD-ROMドライブをクリックし、[プロパティ]をクリックします。

[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。

ある場合はチェックします。

●Windows 2000の場合:

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]をクリック→[ハードウェア]タブをクリックし、お使いのCD-ROMドライブをクリックし、[プロパティ]をクリックします。

[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。

ある場合はチェックします。

●Windows Meの場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]をクリック→[デバイスマネージャ]タブ内の[CD-ROM]をダブルクリックして下に表示されるデバイスをダブルクリックします。

[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。

ある場合はチェックします。

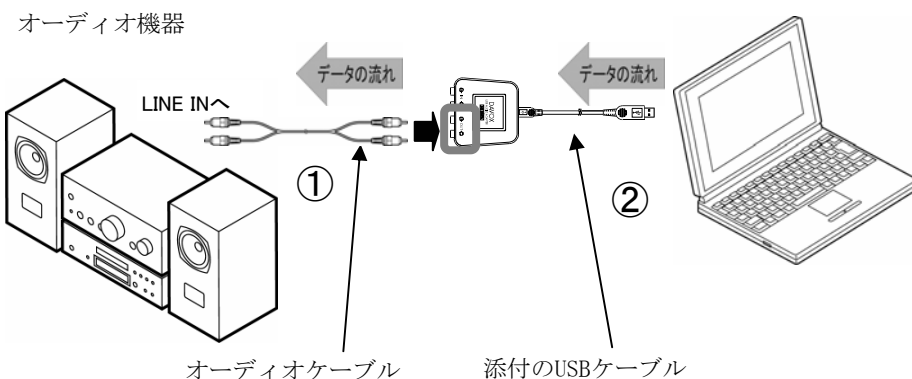
●Windows 98の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]をクリックします。

[音楽CD]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。

ある場合はチェックします。

外部機器へ出力する(アナログ出力)

パソコンで再生する音声をオーディオ機器などへ出力することができます。
下図のように接続します。

① オーディオ機器等のLINE INと
本製品のLINE OUTをオーディオケーブルで
接続します。

※オーディオケーブルは本製品には添付されていません。別途ご用意ください。

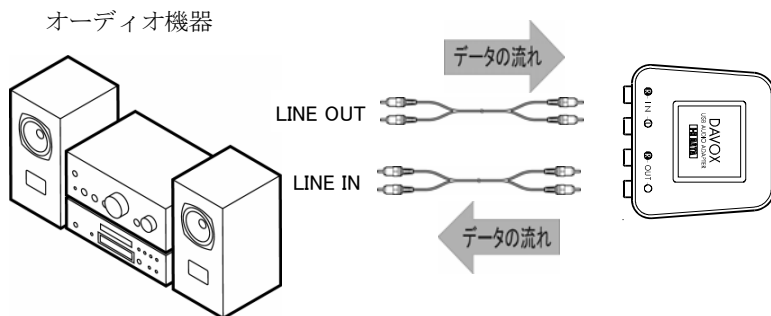
② 本製品とパソコンを添付のUSBケーブルで接続します。

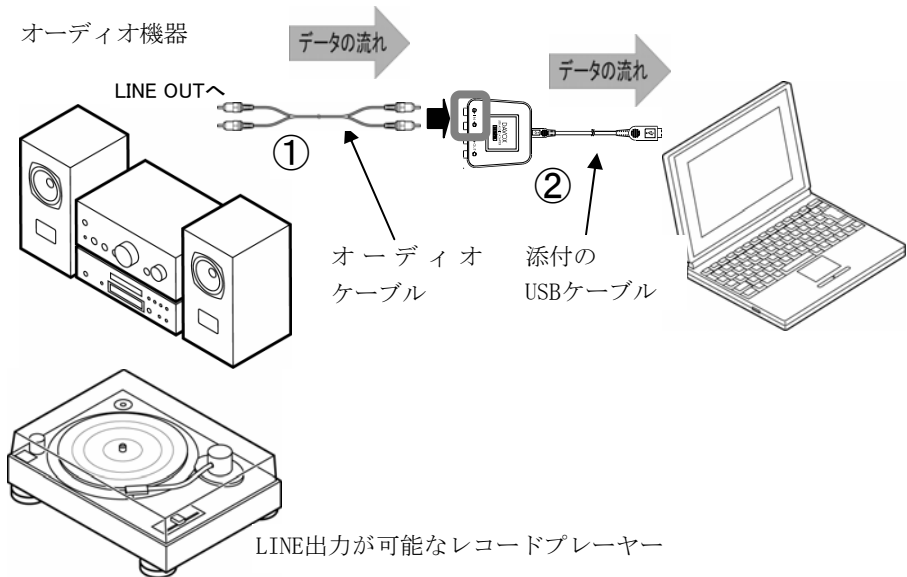
③ オーディオ機器側の入力設定をLINE INにします
（詳しくはオーディオ機器の取扱説明書を参照してください）

④ 添付の「Sound it!」（またはお持ちのソフトウェア）を起動し再生を行います。

⑤オーディオ機器にて音声を聴いたり、録音を行います。

◆ループ接続しないようご注意ください。◆

下記の図のように本製品の「LINE OUT」と接続オーディオ機器の「LINE IN」を接続し、さらに本製品の「LINE IN」と接続オーディオ機器の「LINE OUT」を同時に接続した場合、本製品と接続機器の間を音がループして発振してしまい、大きな音量になってしまうことがあります。
このような接続は、誤動作や故障の原因のもととなる恐れがありますのでお避けください。

パソコンに録音する(アナログ録音)

オーディオ機器等からのライン出力をパソコンに取り込むことができます。
下図のように接続します。

① オーディオ機器等のLINE OUTと
本製品の「LINE IN」をオーディオケーブルで
接続します。

※オーディオケーブルは本製品には添付されていません。別途ご用意ください。

② 本製品のUSBコネクタとパソコンを添付のUSBケーブルで接続します。

③ 添付の「Sound it!」（またはお持ちのソフトウェア）を起動し録音を行います。

⇒【4 「Sound it!」を使ってみる】（31ページ）へお進みください。

添付ソフトウェアについて

本製品をより効果的にお使いいただくために、Windows版およびMac OS版の波形編集ソフト「Sound it!」を添付しております。「Sound it!」については、次章を参照してください。

「Sound it!」についてのお問い合わせは
70ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。

4 「Sound it!」を使ってみる

この章では、添付の「Sound it!」について説明します。

「Sound it!」について

「Sound it!」とは？

「Sound it!」はパソコンに搭載されているサウンドカード（またはサウンド機能）によりデジタル変換された音声信号を、ハードディスクに録音したり、録音された音声信号に、デジタル信号処理によるさまざまな編集、加工、エフェクト処理を行うことができるソフトウェアです。
また、音楽 CD から抽出したデータやオリジナルのサウンドをオーディオ CD フォーマットで、CD に書き込み※（ディスクアットワンスに対応）することができます。

※ Macintosh 版「Sound it! 3.0 for Macintosh」のみ対応。
本製品添付の「Sound it! 3.0 LE for Windows」では CD に書き込むことはできません。
（以下の【注意】参照）

「Sound it！」を使って

・ホームページ、ビデオクリップ、コマーシャルなどの BGM、ジングル、SE の作成
・ナレーションの編集
・VJ タイトルのサウンド作成
・パソコンのオリジナル起動音、警告音などの作成
・e-mail を使ったボイスメール作成

など、さまざまなサウンドの録音、編集、加工、エフェクト処理などがパソコン上で実現できます。

特長

・非破壊編集方式のため、Sound it!でどのような編集を行っても元の WAVE ファイルに影響を与えません。
・MIDI ソングファイルをウェーブデータに変換します。
（Windows をお使いの場合は Roland VSC 3.2、Mac OS をお使いの場合は Roland VSC 3.0 が別途必要）
・Sound it!の機能、操作が一目でわかるマルチメディアテキスト「Sound it! Lesson」（html 形式）を付属（Sound it!インストール時に同時にインストールできます）しています。

本製品に添付の「Sound it! 3.0 LE for Windows」では、製品版「Sound it! 3.0 for Windows」に搭載されている CD 作成/CD リッピング機能には対応しておりません。
製品版へのアップグレードその他に関しては、PDF ファイルを参照してください。

Windows版「Sound it!」を使ってみる

「Sound it!」を使えば、パソコン上から、音声の出力だけでなく外部オーディオ機器から音声をパソコンへデータとして取り込むことができます。

Mac OS をお使いの場合　→　44 ページを参照してください。

「Sound it!」の動作環境

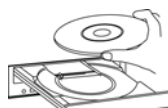
「Sound it!」の動作環境については、5 ページ【添付ソフトの動作環境】または、添付の「DAVOX シリーズサポートソフト」CD-ROM 内の PDF ファイルを参照してください。

Windows 2000/98 で WMA ファイルの読み込み、保存を行う場合には、Windows Media Player7 以上が必要です。
Windows Media Player7 以上をお持ちでない場合は、
マイクロソフト社のホームページよりダウンロードしてください。

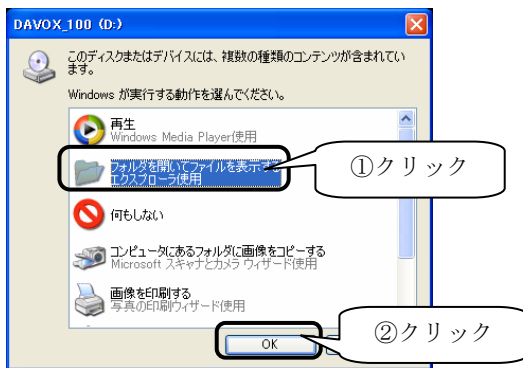
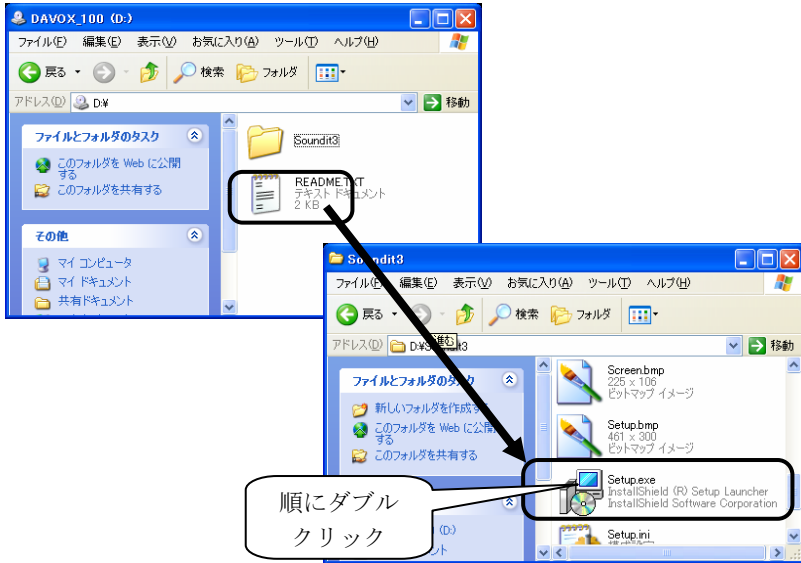
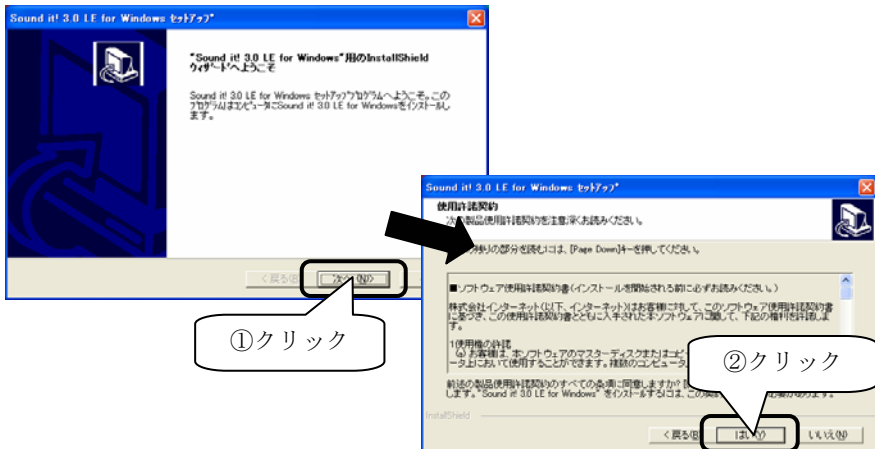
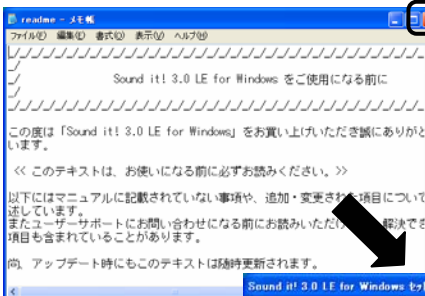
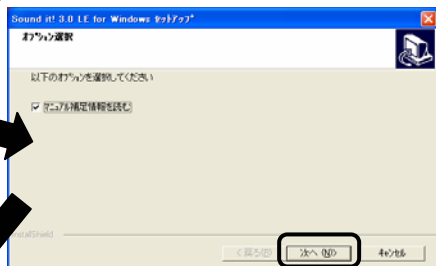
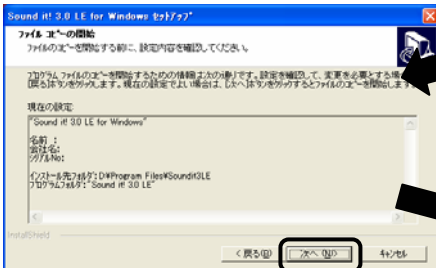
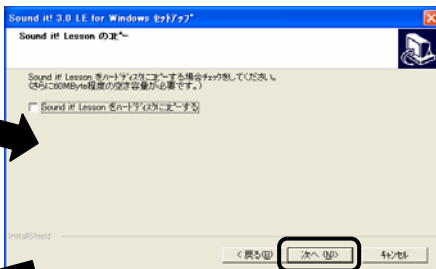
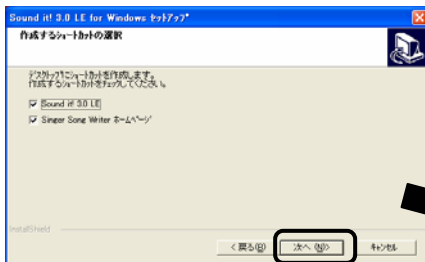
「Sound it!」をインストールする

パソコン(Windows)を起動します。

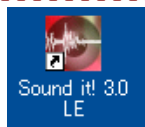
Windows XPの場合、コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。
Windows 2000の場合、Administorator権限でログオンしてください。

添付の「DAVOXシリーズサポートソフトCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

添付のCD-ROM

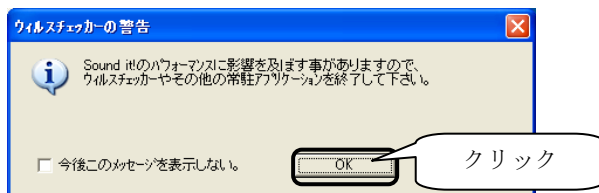
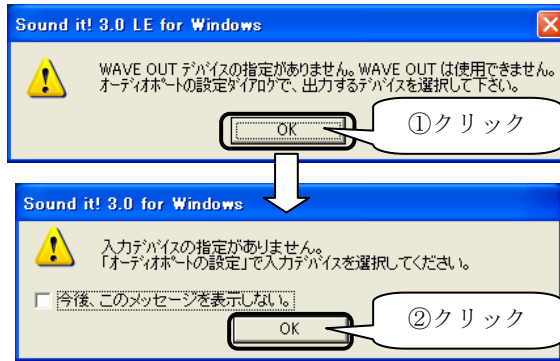
CD-ROMをセット後、お使いの環境によっては、以下の画面が表示されます。
[フォルダを開いてファイルを…]をクリック後、[OK]ボタンをクリックします。

・以下、WindowsXPでの画面例です。

［マイコンピュータ］*（Windows XPでは［スタート］→［マイコンピュータ］）*→CD-ROMアイコン*（［DAVOX_100］）*内の［Soundit3］→［Setup］アイコンを順にダブルクリックします。

5 画面の指示に従ってインストールします。

ユーザの情報
名前を入力して下さい。会社名と製品のシリアル番号も入力して下さい。
名前(A):
会社名(C):
シリアル番号(S):
CDキー(K):
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
名前を入力
会社名を入力
添付の「Sound it!ユーザー登録カード」に記載されている［シリアル番号］を入力
添付の「Sound it!ユーザー登録カード」に記載されている［CDキー］を入力
ユーザー登録カードの紛失については弊社ではサポートいたしかねます。
お問い合わせについては【サービス品に関するお問い合わせ】（70ページ）を参照してください。
なお、本製品のユーザー登録（2ページ参照）を行ってからお問い合わせください。
ユーザー登録カード
ここに記載されています
Sound it! 3.0 LE for Windows セットアップ
インストール先の選択
セットアップがファイルをインストールするフォルダを選択してください。
セットアップは、次のフォルダに "Sound it! 3.0 LE for Windows" をインストールします。
このフォルダへのインストールは、[次へ]ボタンをクリックします。
別のフォルダへインストールする場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルダを選択してください。
インストール先のフォルダ
C:¥Program Files¥Soundit3LE
参照(R)...
プログラム フォルダの選択
プログラム フォルダを選択してください。
プログラム フォルダ(P):
Sound it! 3.0 LE
既存のフォルダ(X):
アクセサリ
ゲーム
スタートアップ
管理ツール
関連付けを行うファイルの選択
関連付けを行う拡張子にチェックをしてください。
AU/SND
AIF/AIFF
WMAフォーマットのサポート
WMAフォーマットのファイルを読み書きする場合チェックしてください。その場合必ずメディアプレイヤーをインストールしてください。
WMAフォーマットをサポートする

パソコンを一度再起動します。

「Sound it!」を起動する

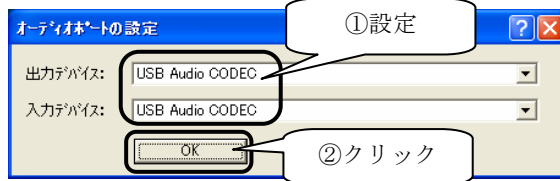
「Sound it！」を起動します。
デスクトップ上の[Sound it! 3.0 LE]アイコンをダブルクリックします。

もう1つの起動方法

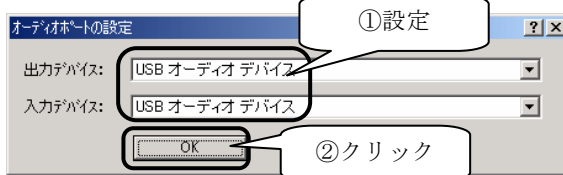
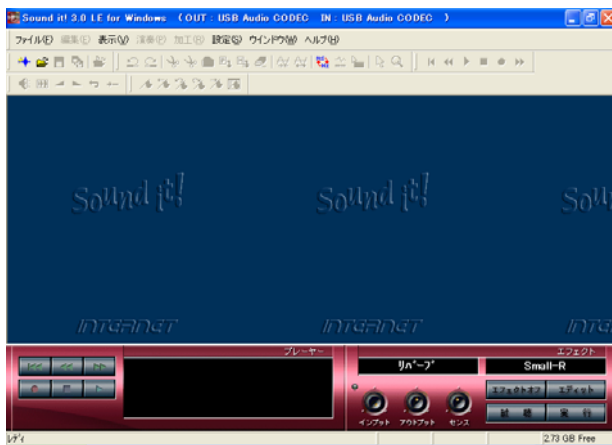
「Sound it!」は[スタート]メニューからでも起動できます。
[スタート]→[プログラム]（Windows XP では[すべてのプログラム]）→[Sound it! 3.0 LE]→[Sound it! 3.0 LE]を順にクリックすれば起動できます。

はじめて起動した場合は、以下の画面および次ページ*3〜4* の手順の画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックします。

順に[OK]ボタンをクリックします。

以下の画面では以下のように設定し、[OK]ボタンをクリックします。

・Windows XPの場合

[出力デバイス]: USB Audio CODEC
[入力デバイス]: USB Audio CODEC

・Windows 2000/Me/98の場合

[出力デバイス]: USBオーディオデバイス
[入力デバイス]: USBオーディオデバイス

[Sound it!]の画面が表示されます。
この画面から各種操作を行います。

「Sound it!」を使ってみる

ここでは、「Sound it!」を使って音声を取り込む例について説明します。

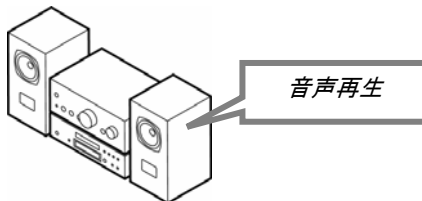
●使用例：「Sound it!」を使ってパソコンに音声を取り込む

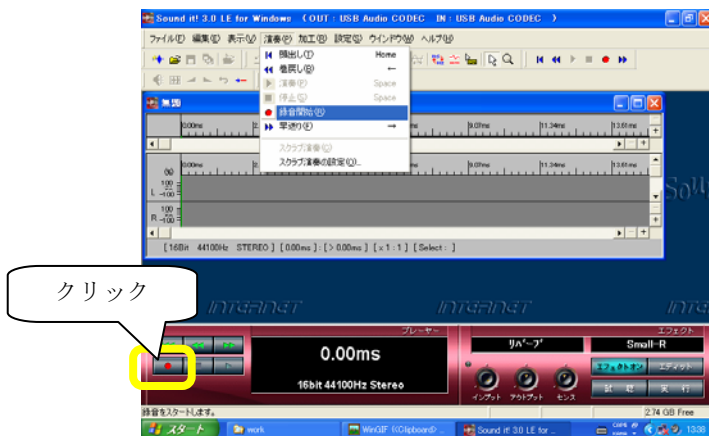
「Sound it!」を使って音声を取り込んでみましょう。

1 最初に新規作成を行います。
「Sound it!」画面の [新規作成]ボタンをクリックします。
（[ファイル]メニューの[新規作成]をクリックしても新規作成できます。）

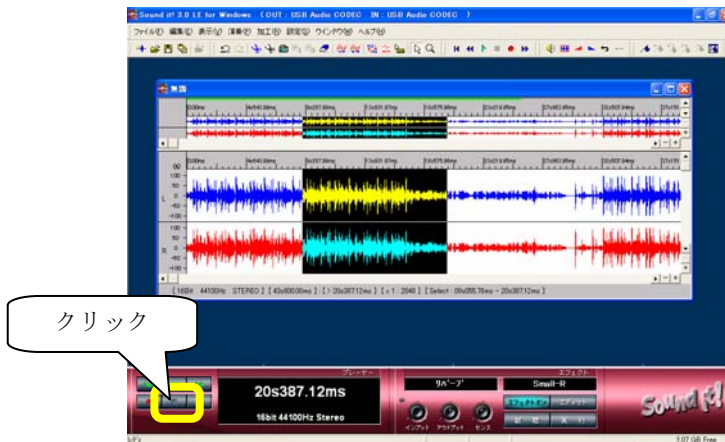
または

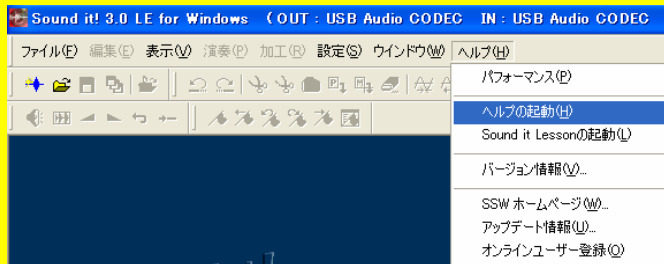
2 以下の画面が表示されます。必要に応じて設定してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

3 本製品に接続している機器の音声を再生します。
※接続をご確認ください。（29ページ参照）

4 音声を取り込み(録音)ます。

「Sound it!」画面の [録音開始]ボタンをクリックします。
([演奏]メニューの[録音開始]をクリックしても録音できます。)

⇒録音が開始されます。

5 取り込み(録音)を終了したいところで「Sound it!」画面の [停止]ボタンをクリックします。
([演奏]メニューの[停止]をクリックしても停止できます。)

⇒録音が終了し、画面上に取り込まれた音声が表示されます。

6 [ファイル]メニューの[名前を付けて保存]で音声をファイルに保存できます。

「Sound it!」の使用方法、その他に関しては弊社ではサポートいたしかねます。
使用方法に関しての詳細は、「Sound it!」のヘルプ、「Sound it! Lesson」を参照してください。また、「Sound it!」のマニュアルが、CD-ROM 内に PDF 形式で収録されています。
また、お問い合わせに関しては【サービス品に関するお問い合わせ】(70 ページ)を参照してください。

Macintosh版「Sound it!」を使ってみる

「Sound it!」を使えば、パソコン上から、音声の出力だけでなく外部オーディオ機器から音声をパソコンへデータとして取り込むことができます。

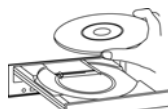
Windowsをお使いの場合　→　33ページを参照してください。

「Sound it!」の動作環境

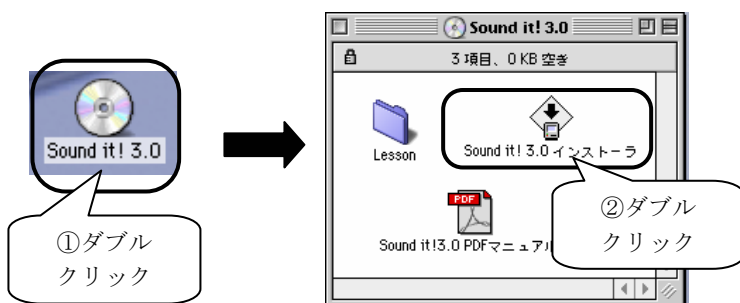
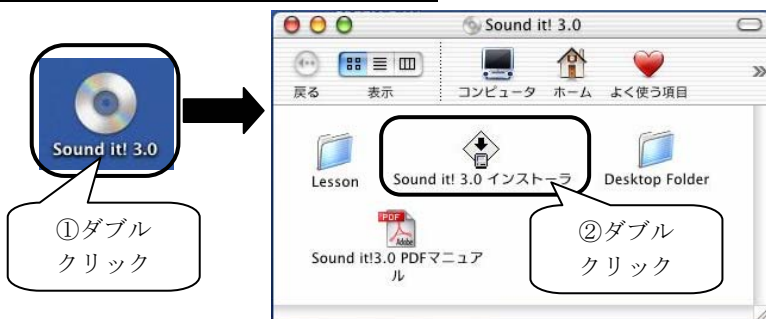
「Sound it!」の動作環境については、5ページ【添付ソフトの動作環境】または、添付の「DAVOXシリーズサポートソフト」CD-ROM内のPDFファイルを参照してください。

「Sound it!」をインストールする

パソコン(Macintosh)を起動します。

添付の「DAVOXシリーズサポートソフトCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

添付のCD-ROM

CD-ROMアイコン([Sound it! 3.0])内をダブルクリック後、[Sound it! 3.0 インストーラ]アイコンをダブルクリックします。

・Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2の場合

・Mac OS X 10.1.5/10.2以降の場合

お使いのパソコンによっては、CD-ROM をセット後、すぐに右の画面が表示される場合があります。

画面の指示に従ってインストールします。

Sound it! 3.0 for Macintosh へようこそ

Sound it!

パッケージ同梱のソフトウェア使用許諾書のすべての条項に同意しますか？
この後の画面の［終了］を選択するとインストールは中止されます。
このプログラムをインストールするには、この使用許諾に同意いただく必要があります。

また、ユーザーサポートを受けていただくためにはユーザー登録が必要です。
ユーザー登録は、同梱のユーザー登録カードのご返送、またはオンライン登録（Sound it! の［ヘルプ］メニューの［オンラインユーザー登録］から）いずれかをご利用ください。

続ける...

このインストールプログラムは、MindVision ソフトウェアの Installer VISE で作成されました。

Sound it! 3.0 インストーラ

簡易インストール

Sound it! 3.0をインストールします。

インストールの場所

フォルダ "Sound it! 3.0" がディスク "Macintosh HD" のフォルダ "Applications" 内に作成されます。

インストールの場所： Macintosh HD

終了

インストール

登録カードに記載している
CDキーを入力してください。

キャンセル　OK

添付の「Sound it!ユーザー登録カード」に
記載されている［CDキー］を入力

ユーザー登録カード

ここに記載されています

ユーザー登録カードの紛失については弊社ではサポートいたしかねます。
お問い合わせについては
【サービス品に関するお問い合わせ】（70 ページ）を参照してください。
なお、本製品のユーザー登録（2 ページ参照）を行ってからお問い合わせください。

インストールが完了しました。インストーラを終了するには、"終了"をクリックしてください。このまま追加インストールを実行するには、"続ける"をクリックしてください。

続ける　終了

「Sound it!」を起動する

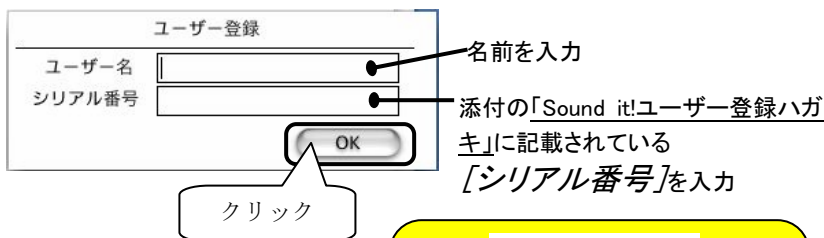
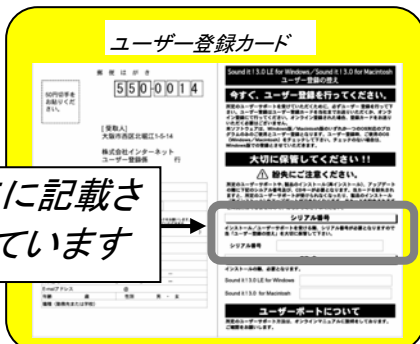
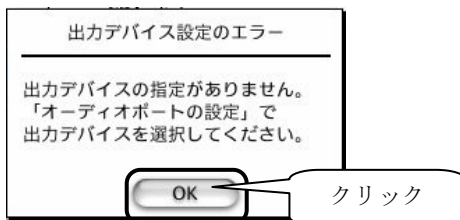
「Sound it ! 」を起動します。

・Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2の場合

[Macintosh HD]→[Sound it! 3.0]→[Sound it! 3.0]アイコンを順にダブルクリックします。

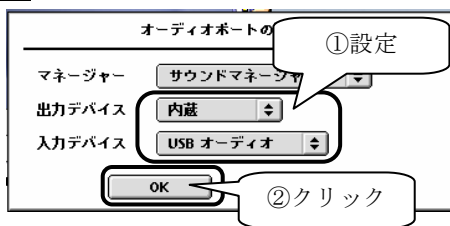
・Mac OS X 10.1.5/10.2以降の場合

[Macintosh HD]→[アプリケーション]([Applications])→[Sound it! 3.0]→[Sound it! 3.0]アイコンを順にダブルクリックします。

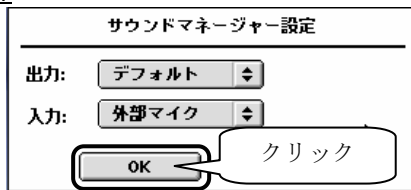
はじめて起動した場合は、以下の画面および*3～5* の手順の画面が表示されます。
以下の画面では、[ユーザー名][シリアル番号]を入力後、[OK]ボタンをクリックします。

注意 **ユーザー登録カードの紛失については弊社ではサポートいたしかねます。**
お問い合わせについては【サービス品に関するお問い合わせ】(70 ページ)を参照してください。
なお、本製品のユーザー登録(2 ページ参照)を行ってからお問い合わせください。

[OK]ボタンをクリックします。

以下を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

・Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2の場合

[出力デバイス]:
内蔵
[入力デバイス]:
USBオーディオ

・Mac OS X 10.1.5/10.2以降の場合

[出力デバイス]:
Mac OS X Audio HAL
(または[USB Audio CODEC])
[入力デバイス]:
USB Audio CODEC

[OK]ボタンをクリックします。

・Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2の場合

・Mac OS X 10.1.5/10.2以降の場合

[Sound it!]の画面が表示されます。
この画面から各種操作を行います。

※次回から手順1の[Sound it! 3.0]をダブルクリックすれば、以下の画面が表示されます。

・Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.2の場合

・Mac OS X 10.1.5/10.2以降の場合

「Sound it!」を使ってみる

ここでは、「Sound it!」を使って音声を取り込む例について説明します。

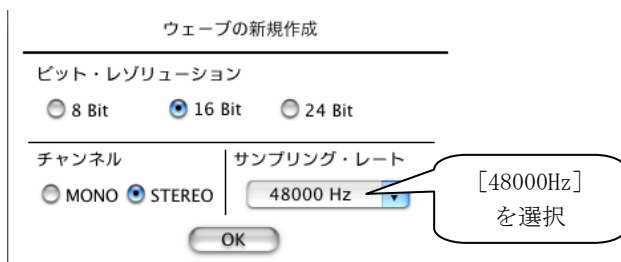
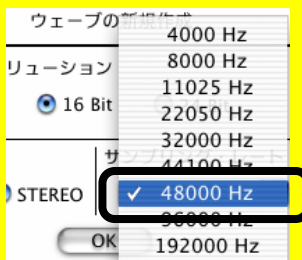
●使用例：「Sound it!」を使ってパソコンに音声を取り込む

「Sound it!」を使って音声を取り込んでみましょう。

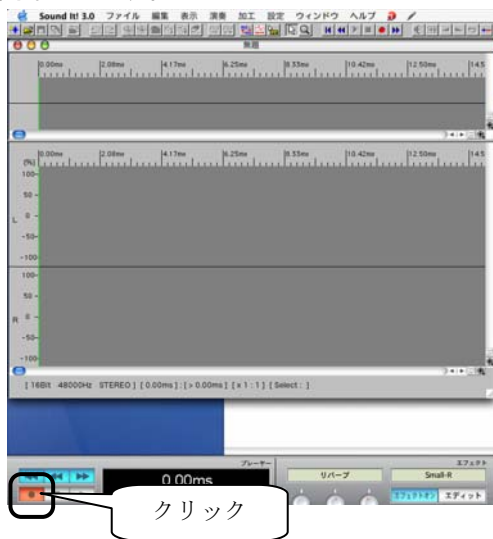
1 最初に新規作成を行います。

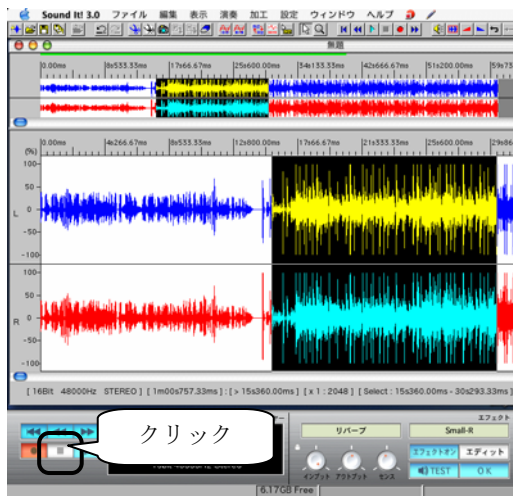
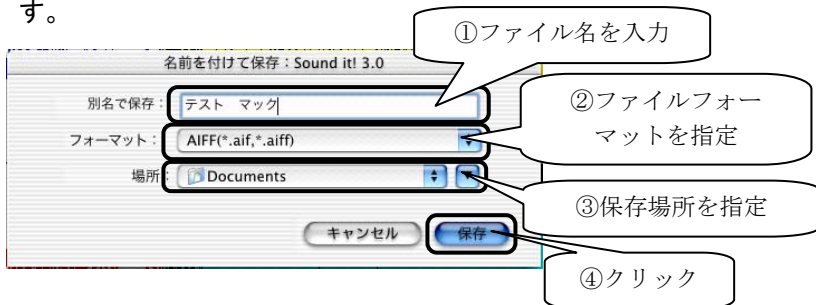
「Sound it!」画面の [新規作成]ボタンをクリックします。
（[ファイル]メニューの[新規作成]をクリックしても新規作成できます。）

2 以下の画面が表示されます。

サンプリングレートで[48000Hz]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

3 本製品に接続している機器の音声を再生します。

4 音声を取り込み（録音）ます。

「Sound it!」画面の [録音開始]ボタンをクリックします。
（[演奏]メニューの[録音開始]をクリックしても録音できます。）

⇒録音が開始されます。

5 取り込み（録音）を終了したいところで「Sound it!」画面の［停止］ボタンをクリックします。
（［演奏］メニューの［停止］をクリックしても停止できます。）
⇒録音が終了し、画面上に取り込まれた音声が表示されます。

6 ［ファイル］メニューの［名前を付けて保存］で音声をファイルに保存できます。

「Sound it!」の使用方法、その他に関しては弊社ではサポートいたしかねます。
使用方法に関しての詳細は、「Sound it!」のヘルプ、「Sound it! Lesson」を参照してください。また、「Sound it!」のマニュアルが、CD-ROM 内に PDF 形式で収録されています。
また、お問い合わせに関しては【サービス品に関するお問い合わせ】（70 ページ）を参照してください。

5 付録

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあったときにご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
Newsその他

状態	参照ページ
ステレオ機器などに録音されない	55
MIDIが再生できない（Windowsのみ）	
本製品が認識しない、音にノイズが乗ったり、動作が不安定	55
本製品から音声が出力されない	56
本製品に入力した音声が録音できない	58
パソコンが起動しない、または省電力モードから復帰できない	62
録音のボリューム調整ができない	
録音ソフトから録音調整の画面を開こうとするとエラーが出る	
Mac OSで録音を開始するとエラーが出て録音できない	63
Mac OS 9.0.4でSound it!をインストール時にエラーが出る	
Mac OS 9.1でSound it!を起動するとエラーが出て起動できない	
Mac OS 9で録音した音がおかしい	

ステレオ機器などに録音されない

対処１ **ステレオ機器などは録音待機状態になっていますか？**

ステレオ機器などでの録音方法等については、機器の取扱説明書をご覧ください。

対処２ **本製品から音声が出力されていますか？**

次ページ「本製品から音声が出力されない」の対処方法を参照してください。

対処３ **ステレオ機器側の入力切替はLINE INになっていますか？**

ステレオ機器の入力をLINE INに切り替えてください。詳細は機器の取扱説明書をご覧ください。

MIDIが再生できない（Windowsのみ）

対処 **本製品を接続したままWindowsを再起動してみてください。**

Windows起動中に本製品をパソコンから外し、その状態でパソコン内蔵のサウンドボードを使ってMIDIの再生をした場合、本製品を接続しなおしても本製品から音の出力がされない場合があります。このような場合は、本製品をパソコンに接続したままWindowsを再起動してみてください。

本製品が認識しない、音にノイズが乗ったり、動作が不安定

対処 **本製品が正しく組み込まれていない。**

別のUSBポートに接続してください。
また、USBハブを利用しいている場合、直接本体側のUSBポートに接続してどうかお試しください。

本製品から音声が出力されない

対処 パソコンの設定で、本製品が選択されていない

パソコン側で本製品を選択してください。設定方法はお使いのOSのページをお読みください。

- Windows XPの場合→以下の手順
- Windows 2000/Me/98の場合→次ページ
- Mac OSの場合→次ページ

Windows XPの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]を順にクリックします。

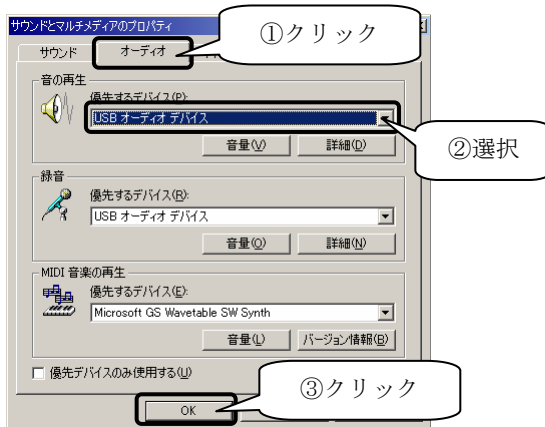
[オーディオ]タブをクリックし、[音の再生]欄の[既定のデバイス]で[USB Audio CODEC]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Windows 2000/Me/98の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]（Windows 98の場合は[マルチメディア]）を順にクリックします。

[オーディオ]タブをクリックし、[音の再生]※欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

※Windows Me/98の場合は「再生」

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Mac OS /Mac OS Xの場合

22ページ【インストール終了後の確認】で正常に表示されているかご確認ください。

本製品に入力した音声が録音できない

対処 1　パソコンの設定で、本製品が選択されていない

パソコン側で本製品を選択してください。設定方法はお使いのOSのページをお読みください。

- Windows XPの場合→以下の手順
- Windows 2000/Me/98の場合→次ページ
- Mac OSの場合→次ページ

Windows XPの場合

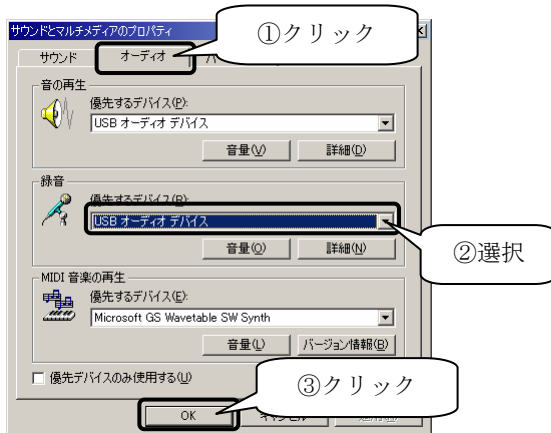
[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]を順にクリックします。

[オーディオ]タブをクリックし、[録音]欄の[既定のデバイス]で[USB Audio CODEC] を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Windows 2000/Me/98の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]（*Windows 98の場合は[マルチメディア]*）を順にクリックします。

[オーディオ]タブをクリックし、[録音]欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

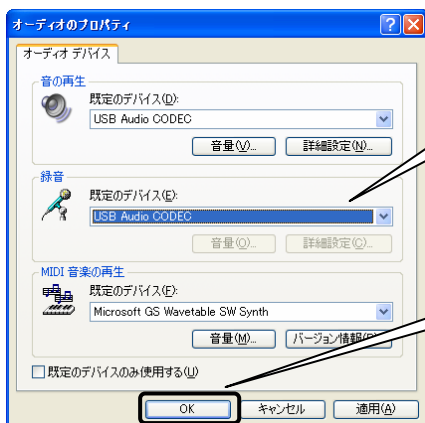
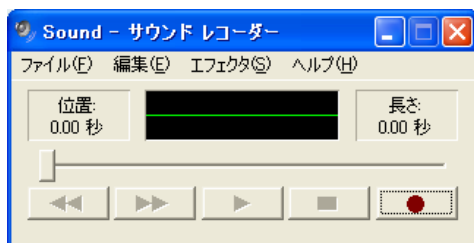
Mac OS /Mac OS Xの場合

22ページ【インストール終了後の確認】で正常に表示されているかご確認ください。

対処２ Windows添付のサウンドレコーダーで録音してみる

以下の方法で録音をお試しください。
(Windows XPでの画面例となります。)

[スタート]→[(すべての)プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[サウンドレコーダ]を順にクリックします。

[編集]→[オーディオのプロパティ]をクリックし、
以下の画面の[録音]欄の[既定のデバイス]に本製品が選択されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

録音ボタンを押します。

音楽や音声が正しく入力されている場合、録音中に音量に応じて緑色の表示があります。

正しく録音できている場合

録音できていない場合

入力されていない

音量が小さいか、設定が間違っている。

ストップボタン押して録音終了後、再生ボタンを押して再生します。
この際に、スピーカーを本製品の出力端子につないでください。
すぐに見つからない場合は、本製品を外してパソコンのサウンド機能を有効にして再生してください。

必要に応じてファイルメニューより、「名前を付けて保存」を選び保存してください。

正しく録音・再生が行えれば、本製品は正常動作しております。

SoundIt!、もしくはご利用のアプリケーションのヘルプもご参照ください。

【参考】

SoundIt!のマニュアルがCD-ROM内にPDF形式で収録されております。

また、SoundIt！のお問合せ先は【サービス品に関するお問い合わせ】(70ページ)をご参照ください。

パソコンが起動しない、または省電力モードから復帰できない

対処 以下の方法でもう1度接続してください。

本製品を接続した状態でパソコンが起動しなかったり、省電力モードから復帰できない場合は、いったんパソコンの電源を切り、本製品をUSBポートから抜いてください。その後、再びパソコンの電源を入れ、パソコンが完全に起動したことを確認後、本製品を接続してください。

録音のボリューム調整ができない

録音ソフトから録音調整の画面を開こうとするとエラーが出る

対処 本製品の仕様となります。

本製品には録音に関するボリューム設定の機能はありません。
録音後、SoundIt!で音量の編集(変更)を行っていただくか接続されているオーディオ機器側にて出力調整を行ってください。
【参考】
オーディオ機器のライン出力端子は通常音量調整が行えません。
(オーディオ機器のボリュームを上げても出力は一定です。)
本製品に入力する音量を調整したい場合、オーディオ機器側のヘッドフォン端子と接続してください。

Mac OS/Mac OS Xで録音するとエラーが出て録音できない

対処 **サンプリングレートを48000Hzにしてください。**

本製品は、Mac OSでは48000Hzのみに対応です。
48000Hz以外を指定して録音を開始すると、「音声入出力でエラーが発生しました」と表示されて録音ができません。
必ず48000Hzを指定してください。

Mac OS 9.0.4でSound it!をインストール時にエラーが出る

Mac OS 9.1でSound it!を起動するとエラーが出て起動できない

対処 **最新のCarbonLibをアップル社のホームページよりダウンロードして、アップデートしてください。**

Mac OS 9.0.4や、9.1に標準で入っているCarbonLibではSound it!は使用できません。

Mac OS 9で録音した音がおかしい

対処 **仮想メモリの設定を「切」にしてください。**

録音を開始したとき「メモリの残り容量が少なくなっています」と表示される場合は、録音がおかしくなるときがあります。このような場合はコントロールパネルのメモリで、仮想メモリを「切」にしてパソコンを再起動してください。

仕様

インターフェイス		USB規格Rev.1.1 準拠
音声入出力端子		ライン入力(RCAジャック) X1 ライン出力(RCAジャック) X1
サンプリング周波数	入力	8kHz,11.025kHz,16kHz,22.05kHz,32kHz,44.1kHz,48kHz (Macintoshの場合は48kHzのみ)
	出力	32kHz,44.1kHz,48kHz
周波数特性		20 ～ 20kHz
量子化ビット		8ビット、16ビット
規定入力レベル		-10dBu
規定出力レベル		0dBu
使用温度範囲		+5℃～+35℃ (パソコンの動作する温度であること)
使用湿度範囲		20%～80% (結露しないこと。パソコンの動作する湿度であること)
電源電圧		DC +5V (USBポートから供給)
消費電流		最大 100mA
サイズ		75.0(W)×73.5(D)× 24.3(H)mm (ケーブルを除く)
質量		約67.0g (ケーブルを除く)

用語解説

AIFF形式（ｴｰｱｲｴﾌｴﾌけいしき）　*（Audio Interchange File format）*

Macintosh で標準的に使用されるファイル形式で、拡張子は“aif”または“aiff”です。
AIFF ファイルには、非圧縮 PCM のほか、AIFC という圧縮機能があります。

MP3（ｴﾑﾋﾟｰｽﾘｰ）　*（MPEG1 Audio Layer3）*

CD 並みの音質を維持しながら、ファイルサイズを 1/10 程度に圧縮できるため、インターネットや小型ポータブルプレーヤなどで広く利用されています。

PCM（ﾋﾟｰｼｰｴﾑ）　*（Pulse Code Modulation）*

デジタル信号をまったく圧縮せずに記録しておく方式です。CD-Audio、また、DVD でもこの音声記録方式に対応しています。複数のサンプリングレートと量子化ビット（16、20、24bit）が規定され、高品質な再生が可能です。

WAV形式（ｳｪｰﾌﾞけいしき）　*（WAV format）*

Windows で標準的に使用されるファイル形式で、拡張子は“wav”です。
WAV ファイルには、非圧縮 PCM のほか、いくつかの圧縮形式があります。

WMA（ﾀﾞﾌﾞﾘｭｰｴﾑｴｰ）　*（Windows Media Audio）*

Microsoft 社が開発した高圧縮かつ高音質のストリーミングに適したファイル形式です。
8～42kHz、8/16 ビット、および MONO/STEREO の任意の組み合わせを使用することができます。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
Newsその他

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　　　アイ・オー・データ第2ビル
　　　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3646　東京…03-3254-1036
　　　　※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとソフトウェアのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（前ページ【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号(S/N)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・以下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］, 日中にご連絡できるお電話番号,

ご使用環境（機器構成、OSなど）, 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は以下の送付先までお送りください。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

サービス品に関するお問い合わせ

サービス品（添付ソフト）に関しては、以下へお問い合わせください。

サービス品につき、弊社ではサポート致しておりません。
お問い合わせ時には、本製品のユーザー登録されていることが必要です。本製品のユーザー登録を行ってからお問い合わせください。

「Sound it!」に関するお問い合わせ

住所：〒550-0014
大阪市西区北堀江2丁目2番25号 久我産業ビル南館
株式会社インターネット　ユーザーサポート係

E-Mail：techsupport@ssw.co.jp
ホームページにある「お問い合わせシート」の形式にてお送りください。
※お問い合わせシート:http://www.ssw.co.jp/support/inquiry1.txt
(注)メールを送る際には、文字化けなどのトラブルを避けるため本文は、必ず「テキスト(半角カナは不可)」のみで送信してください。

電話番号：東京 03-3226-0208
大阪 06-6539-0621

FAX番号：東京 03-3226-0184
大阪 06-6539-0622

受付時間：月～金曜日　11:00～13:00、14:00～17:00
（土・日・祝祭日・インターネット社休業日を除く）

今すぐ、ユーザー登録を行ってください。

「Sound it!」のオンラインユーザー登録は、「Sound it!」の「ヘルプ」メニューにある「オンラインユーザー登録」から行うことができます。
オンラインユーザー登録ができない場合は、必要事項をご記入の上、添付の「Sound it！ユーザー登録カード」をご返送ください。